

(様式2)

支部事業報告(砺波・南砺・小矢部支部合同)	開催日	2020年9月12日(土)
	時間	10:00~11:30
	場所	砺波市子供歌舞伎曳山会館
テーマ	看護連盟の活動について理解を深める	
参加対象者	会員・非会員	
参加人数	54名	
事業目的	看護連盟の役割を理解し活性化を図る	
研修会名	令和2年度 第1回富山県看護連盟 砺波・南砺・小矢部支部合同研修会	
参加対象者	会員・非会員	
参加者数	会員 44名 非会員 5名 不明 5名	
主催	富山県看護連盟砺波・南砺・小矢部支部	
事業(研修)目的	富山県看護連盟の活動の現状を理解する 富山県知事と交流を深め政策内容を理解する	
研修方法	講演	

【内 容】

受付で新型コロナウイルス感染症拡大防止の徹底任せてね!



- ・手指のアルコール消毒
- ・非接触型体温計で検温
- ・体調チェック
- ①せき ②咽頭痛 ③倦怠感
- ④味覚障害 はありませんか?



講演1 「富山県看護連盟の活動について」
富山県看護連盟会長 三谷順子氏
”届けよう看護の声を！私たちの未来へ”新しいスローガンを掲げ活動をしている。看護政策の実現のためには、法制化(政治の力)が大切だと改めて話された。
「政治に無関心になることは出来ても、政治に無関係になることは出来ない」 K議員
「政策は、投票率の高い層に誘導される、選挙に行くことは自分が払った税金を取り戻しに行く唯一の方法」 H議員
看護連盟が具体的に何をしている団体なのか、講演を聞き謎が一気に解決しました。



講演2 「富山県知事と語る会」
富山県知事 石井隆一氏
いつもテレビで拝見している石井知事が、はるばる富山県看護連盟の地区支部研修会に足を運ばれた。柔らかなほほ笑みながらも、確かなビジョンを熱く語られ新型コロナウイルス感染症流行で頑張る医療従事者に、エールを送り、慰労金の支給や今後の財政を立て直すべく施策を約束された。



まとめ:

今回の研修開催に際し、新型コロナウイルス感染予防を考慮し、会場や内容を変更することになったが、支部間で連携を取り無事開催することができた。ソーシャルディスタンスを保つため人数を縮小しての開催であった。講演では看護連盟の活動で獲得したものを具体的に示され、改めて政治の力に影響を及ぼすことができる看護連盟の必要性を感じた。「富山県知事と語る会」では、医療看護体制についてなど石井知事のビジョンや思いを直接聞くことができ、政治への関心に繋がったと考える。

報告者 (小矢部支部・リーダー) 大島 由紀